

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年10月13日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670101973
法人名	医療法人 明輝会
事業所名	グループホーム よしの村
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町3822番地1 (電話) 099-244-4412
自己評価作成日	平成28年9月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年10月4日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設当初から開催している祭りや、町内会との協力関係が定着してきました。昨年からは、認知症サポーター養成講座など、地域向けの勉強会を企画したり、保育園との継続的な交流を計画したりと、認知症の啓発や利用者が交流する機会をより多く持てるような活動にも力を入れています。利用者の生活においては、ご本人が希望を表すこと、希望する事に取り組めることを支援したいと考えていますが、少しずつ時間をかけて実践方法を模索しているところです。また、各利用者が家族とのかかわりを維持できるように、行事・外出の案内と協力依頼を積極的に行っています。健康管理においては訪問看護を介した医療との連携で、体調変化にスムーズに対応できる体制があり、これによって最期まで暮らせる場を提供することができるようになってきました。今後も、法人全体で取り組む研修等を活用してケアのスキル向上を図りながら、利用者、家族、地域から信頼される事業所として成長していきたいと考えています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、3ユニットのグループホーム各々が独立して建てられている。利用者間の行き来も多く災害時の協力関係も構築されている。
- ・自治会に加入し、地域行事にも積極的に参加する一方、事業所の行事にも多くの地域の人々の参加がある。認知症サポーター養成講座を開催するなど地域交流を深めている。
- ・協力医療機関や訪問看護を介した定期的な往診や緊急時の対応などの医療連携体制が図られている。本人や家族の希望で、看取り介護に家族と医療関係と連携して取り組んでいる。
- ・園芸療法や音楽療法にも取り組み、利用者個々人がその人らしい生活ができるように支援している。
- ・管理者は職員育成に力を入れ、働きやすい環境作りに配慮し、資格取得に向けた支援や各種研修等への出席を奨励している。職員間のコミュニケーションも図られ勤務年数も長く離職者も少ない。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝唱和する事によりスタッフ同志が共有し、事故怪我の無いよう取り組んでいる。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念がある。法人理念と今年度の目標が玄関に掲示している。毎朝申し送り時に唱和し、職員会議等で振り返り、理念を共有し実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に参加したり事業所の行事に地域の方への参加を呼び掛けたりしている。学生のボランティア受入、保育園児来所、招待と交流の場を増やしている。	町内会に加入し、回覧板等で地域と情報を共有し園芸活動を通して交流を行い、日頃の付き合いを大切にしている。秋祭りなど事業所の行事にも多くの地域の人々の参加がある。保育園児の訪問や中学生・高校生の職場体験学習、ボランティアの受け入れなども行って、日常的に交流している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症への理解を深めて貰う為に、様々な勉強会を行い地域の方への参加を呼び掛けている。（認知症 胃ろう 車椅子の使用 方法 など）（			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に行われ、家族や地域の方へ呼びかけ事業所の行事、取り組み、報告等を行い意見交換や相談などが出来る場を設け、サービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は2ヶ月に1回、1年に6回開催している。事業所の活動報告や園芸療法を介した交流について・事故報告・外部評価報告などを行い、胃ろうについてや口腔ケアなどの研修も行った。そこでの助言で、水溜りの場所などを改善し避難訓練に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議や地域の連絡協議会などで情報交換を行っている。待機者報告や事故報告、生活保護における連携などで関係を気付いている。</p>	<p>市担当者には、事業所の実情や取り組みを伝え、待機者の報告や事故報告等について連携を取っている。介護相談員も受け入れ、市主催の研修会にも積極的に参加している。生活保護の担当者とも密に連絡し合っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>委員会による勉強会を行い、職員全員が理解し取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束予防委員会を中心にマニュアルを基に定期的に勉強会や事例検討会を開催し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、帰宅願望の強い利用者には見守りや同行などを行い、家族と職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>委員会による勉強会を行い、職員全員が理解し、ケアを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者が行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者により十分な説明をおこなっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議や家族の面会時など、常に意見や要望などを出して貰えるようにしている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会や家族会・電話・運営推進会議参加時に意見を聞いている。アンケートも実施している。出された要望等で園芸療法を取り入れるなど運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>必要に応じて相談や意見を出せる環境にある。</p>	<p>代表者や管理者は棟会議や全体職員会等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。個人面談を年に2回実施し、働きやすい環境づくりに努めている。出された意見や提案で職員の休憩時間が改善されるなど反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>以前に比べると改善されていると思う。有休が取りやすくなった。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の機会は大いにある。介護技術の研修も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>勉強会や交流会が行われている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の話を傾聴し受け止め、コミュニケーションを取りながら関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族会や面会時に、近況報告をし、家族からの要望、相談等話しやすい環境づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要に応じて専門職との連携を取り、対応している。(訪問リハビリ 他科受診 福祉用具等)</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人を尊重し、必要な支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族参加の行事を増やしたり（父の日母の日 敬老会 花見）、家族との外出が出来るよう声掛けを行い、家族との時間が増やせる工夫をしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>新聞やテレビなどから話題を提供し一人ひとりに関連した昔を思い出して懐かしんでもらったり、自宅近辺や馴染みの場所にドライブに行く事もある。</p>	<p>利用者は地元の方が多く家族や知人の訪問を奨励し、野菜の差し入れなどがある。日頃の介護の中で、昔の事について思い出せるような会話をしている。手紙や電話の取次ぎなども行っている。家族の協力外出や外食・買い物・理美容院利用などに出かけ、継続的關係が途切れないよう働きかけている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同志が語り合える環境を作ったり、一緒に行える作業やレクリエーションを提供している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>管理者により支援が行われている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意思がくみ取れるよう傾聴し言葉や思いが引き出せるよう語りかけたり、少しでも希望が見いだせるよう工夫している（会話の中で、どうですか？どう思いますか？と選択肢にしたり）	日々の関わりの中で耳を傾け、仕草や表情等から、思いや意向の把握に努めている。夜勤帯や入浴時などに話かける事に努めている。職員は気づきを個々人の介護記録等に記録し、情報を共有している。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報を取り入れたり、サマリーを参考にしたりしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	状態や状況を常に意識し、本人の意思を把握できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアカンファにおいて、計画作成担当者を中心に、チーム全員で一人ひとりのケアのあり方を話し合い作成されている。	本人や家族・必要な関係者からの聞き取り、診療の結果等を計画作成時に反映させ個別の介護計画を作成している。3ヶ月に1回モニタリング、半年に1回見直しを実施。状況の変化時は介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の漏れや申し送りの連絡事項の漏れが無いよう徹底し、問題があればその都度話し合い意見交換を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人の医療 リハビリ栄養の専門職と連携して相談し取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	防災訓練や救急訓練には消防や民生委員地域の協力を得、学生のボランティアの受入、移動理容を利用したりして理解をしてもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な訪問診療では情報提供書を家族に渡し、変化があった場合は報告、急変時の追加往診は家族に報告連絡。他科受診の場合は家族に状況報告し了解を得て行っている。	本人や家族の希望を聞き支援している。月2回の訪問診療や必要に応じて歯科の往診もある。他科受診は家族の協力を得て支援している。訪問看護師との連携で、緊急時の対応など適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週一度の訪問看護で、一人ひとりの状態を報告し、相談、適切な対応が行われている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	管理者が医療機関と連携を図っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	管理者が医療連携を図り、家族と話し合い、チーム全員で支援に努めている。	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い随時話し合い主治医や関係者が連携して、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。職員全員がその方針を認識し、関連の勉強会や研修会に参加している。看取りの事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>講習やマニュアルの備えはあるが実践力に欠ける。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防や地域の方の協力のもと、定期的に訓練を行っている。</p>	<p>風水害や火災・地震のマニュアルに沿って、年2回消防署立会いのもと昼夜想定避難訓練と、年2回自主訓練を実施している。地域とは炊き出し訓練をしたり、緊急連絡網に地域住民も登録するなど協力体制もできている。災害時の米や水・レトルト食品・乾物などの備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>常に心がけてケアに当たっているが、時間に追われたり、感情が出たりする事もあり、まだまだ改善の必要がある。</p>	<p>定期的に勉強会を行い、職員の質の向上を図っている。誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないケアに取り組んでいる。名前は「さん」付けで対応している。入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮をしている。入室時もノックを心がけている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>選択肢で自己決定を促すこともある。(例 どちらにしますか? 右ですか? 左ですか? 等)</p>			
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1人ひとりの状態を観察し、本人の意思確認を行い、その時の状態に合わせた関わりが出来るよう努めている。</p>			
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>自分で出来る整容の声掛けや、定期的な移動美容室を利用したりしている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや、下膳等、その時の状態で一緒に出来る事を行っている。	月1回栄養士の助言を得ながら、旬の食材で、個々に応じた食事形態を工夫している。利用者も個々の力量に応じて食事の下ごしらえに参加している。行事食や誕生日等に食事が楽しみを感じられるように特別な手料理を作ったり、個別に外食をしたりして工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量、食事量のチェック。水分の足りない方には好みの物を提供したりしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの徹底。歯間ブラシ、舌下ブラシ等必要な場合には個別に用意してケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	全員、トイレで排泄できるよう支援を行っている。	排泄のリズムを把握し、必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄を支援している。自立度に応じて排泄用品の検討をしている。下肢力を鍛える運動を取り入れ排泄の自立を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材を使ったり、果物、牛乳などを提供、ボールや道具を使い十分に身体が動かせるよう体操したりしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	希望に応じた入浴は困難な面もあるが、その時の状態や拒否などがある場合は時間や日をずらしたりその都度対応している。	入浴は基本的に週2回、午前中に行っているが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。1対1で入浴し入浴剤を使用して気持ちよく入浴できるように努めている。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努め、個々に応じた入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状態に応じて静養を促したり、睡眠のリズムを整える必要のある方は状態に応じた対応を行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の説明書を確認し理解できている。変更があれば必ず報告。薬のセットは二人で行い、名前日付け朝昼夕を確認し、チェックを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>買い物同行、散歩等行ったり、残存機能を活かした作業を提供したり、気分転換の工夫をしている。(洗濯物を干す。取り込む。たたむ。畑の散策。食材の下ごしらえ等)</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>外出やドライブの機会を作っている。家族の面会時には家族と中庭散歩に出れるよう声掛けを行っている。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や買い物・回覧板を職員と届けたり、誕生日には個別に外食を楽しむなど戸外に出かけられるように支援している。年間計画を立てて花見やソーメン流し・水族館・観音ヶ池・初詣などに出かけている。家族の協力で外泊や外出・外食・理美容院利用・墓参などの支援を行っている。外出を嫌がる利用者への声かけにも配慮している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持時には困難がある為各個人のお遣いとして管理し必要な物を購入したり買い物が出来るよう本人へ渡すこともある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話希望のある方はいつでも応じている。父の日母の日には家族よりメッセージカードを送って貰っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室入口にはカフェカーテンを付けたり、季節に応じた装飾をしたり、テーブルに花を飾ったり、季節感が出るよう工夫している。</p>	<p>共用空間は広々として、天井が高く、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。食卓などに庭に咲いている花を飾り季節を感じられるよう工夫している。玄関のドアが開くと鈴が鳴るように作られていて徘徊への工夫が見られる。浴室やトイレ等には長い手すりが設置され安全面に配慮されている。壁には利用者の作品の書道などが飾られ、大きなソファで居心地よく過ごせるように配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>部屋に戻りたい方、外を眺めたい方、テレビを見たい方、それぞれの希望や状態に対応している。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真を置いたり馴染みのイスやタンスを置いたりしている。</p>	<p>居室はベッドや収納棚が設置され洗面台のある部屋もある。自宅で使用していた家具や遺影・仏具等を置き、気持ちが落ち着く様な雰囲気づくりがされている。家族の写真等も飾り、話題づくりに役立つような工夫がみられる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>状態に応じてベッドやタンスの向きを変えたり、居室入口が狭くならないようにしている。収納ケースの引き出しにラベルを貼り、自分の物が自分で片付け出来るようにしている。屋外に出る場合や災害時等を考慮し通路は広くしている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない